

事業の規模

活動規模	単位	2022年	2023年	2024年
売上高	百万円	1,300	1,350	1,368
従業員	人	35	38	38
床面積	m <sup>2</sup>	311	311	311
収集運搬量	t	33,627	29,837	19,628

作成日：	2025年3月7日
更新日：	
実施者名：	齊藤絵里奈
保管：	環境事務局

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

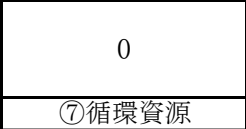
環境への負荷		単位	2022年	2023年	2024年	特定した環境負荷	特定した活動
アウトプット	① 温室効果ガス排出量						
	二酸化炭素排出量 合計	Kg-CO <sub>2</sub>	2,379,651	2,411,798	2,422,468		
	電力	Kg-CO <sub>2</sub>	11,732	8,892	19,256		
	購入電力	kWh	24,442	18,524	19,256		
	電力の二酸化炭素排出係数(調整後)	Kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.48	0.48	0.48		
	化石燃料	Kg-CO <sub>2</sub>	2,367,919	2,361,970	2,376,238		
	灯油	Kg-CO <sub>2</sub>	5,378	2,545	4,032		
	A重油	Kg-CO <sub>2</sub>	0	0	0		
	都市ガス	Kg-CO <sub>2</sub>	0	0	0		
	液化天然ガス(LNG)	Kg-CO <sub>2</sub>	0	0	0		
	液化石油ガス(LPG)	Kg-CO <sub>2</sub>	1,204	1,046	1,053		
	ガソリン	Kg-CO <sub>2</sub>	30,082	25,524	24,870	○	自動車使用による二酸化炭素の発生
	軽油	Kg-CO <sub>2</sub>	2,331,254	2,332,854	2,346,283		
	② 廃棄物等総排出量及び廃棄物最終処分量						
	(1) 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量						
	(i) 産業廃棄物						
	収集運搬量	t	29,837	26,643	19,628		
	中間処理量	t	0	0	0		
	内再資源化量	t	0	0	0		
	最終処分(埋立)量	t	0	0	0		
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0	0		
	内再資源化量	t	0	0	0		
	(ii) 一般廃棄物						
	事業系	t	0	0	0		
	家庭系	t	0	0	0		
	し尿・汚泥	t	0	0	0		
	中間処理量	t	0	0	0		
	内再資源化量	t	0	0	0		
	中間処理後の産廃の処分量	t	0	0	0		
	最終処分量	t	0	0	0		
	(iii) 再生資源の回収・収集量						
		t	0	0	0		
	(iv) 再生資源または廃棄物の再資源化等						
		t	0	0	0		
インプット	(2) 自ら排出した廃棄物等の量						
	一般廃棄物 小計	t	0.86	0.62	0.79		
	再資源化量	t	0.00	0.00	0.00		
	廃棄物焼却量	t	0.00	0.00	0.79	○	一般廃棄物の排出
	最終処分(埋立)量	t	0.86	0.62	0.00		
	再資源化率	%	0%	0%	0%		
	産業廃棄物 小計	t	0.00	0.00	11.01		
	再資源化量	t	0.00	0.00	6.45		
	廃棄物焼却量	t	0.00	0.00	4.56	○	産業廃棄物の排出
	最終処分(埋立)量	t	0.00	0.00	0.00		
	再資源化率	%					
	③ 水使用量						
	合計	m <sup>3</sup>	897	896	1,022		
	上水	m <sup>3</sup>	897	896		○	水道水の使用
	工業用水	m <sup>3</sup>	0	0	0		
	地下水		0	0	0		
	④ 化学物質使用量						
	尿素	kg	3,745	1,301	4,598	○	PRTR物質の使用
	0	kg	0	0	0		
	0	kg	0	0	0		

※使用量(排出量)の多寡、使用や発生の頻度、有害性等を考慮して、取り組みの対象とする項目を特定する

<インプット>

- ③-2 水1,022 m<sup>3</sup>
- ④化学物質
- ⑤エネルギー
- ⑥原材料、商品、副資材

物質収支(マテリアルバランス)の考え方



(環境パフォーマンス指標のコア指標)

太字が把握の必須項目

<アウトプット>

- ①二酸化炭素2,422,468 Kg-CO<sub>2</sub>
- ②廃棄物12 t
- ③-排水1,022 m<sup>3</sup>
- ⑧製品(サービス)

① 温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量のみ掲載）（自動計算）						必須項目		
			単位	合計(年)		排出係数 (B)		
				消費量 (A)	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (A × B) or (A × B × C)		割合	
二酸化炭素排出量	エネルギー消費	購入電力	kWh	19,256	9,243	0%	0.48 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	
		化石燃料	灯油	L	1,619	4,032	0%	2.49 (kg-CO <sub>2</sub> /L)
			A重油	L	0	0	0%	2.71 (kg-CO <sub>2</sub> /L)
			都市ガス	m <sup>3</sup>	0	0	0%	2.16 (kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )
			液化天然ガス(LNG)	kg	0	0	0%	2.70 (kg-CO <sub>2</sub> /kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	351	1,053	0%	3.00 (kg-CO <sub>2</sub> /kg)
			ガソリン	L	10,720	24,870	1%	2.32 (kg-CO <sub>2</sub> /L)
			軽油	L	909,412	2,346,283	98%	2.58 (kg-CO <sub>2</sub> /L)
化石燃料 小計				2,376,238				
エネルギー消費 計				2,385,481				

②-1 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量						必須項目
(1) 産業廃棄物						
(i) 収集運搬						

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
有機性汚泥	t	9,194
建設性汚泥	t	2,388
無機性汚泥	t	2,960
動植物性残渣	t	1,492
廃酸	t	73
廃アルカリ	t	15
廃油	t	66
廃プラスチック	t	105
金属類	t	2
がれき類	t	39
ガラス、陶器類	t	6
燃えがら	t	458
繊維くず	t	2
木くず	t	2,656
紙くず	t	3
混合廃棄物	t	1
その他	t	168
	t	
合計		19,628

②-2 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量					単位: t		必須項目		
			再資源化量		廃棄物量	最終処分量	合計	再資源化率	
			売却	支払	(焼却)	(埋立)		(%)	
廃棄物等総排出量	一般廃棄物	段ボール					0.00	—	
		コピー用紙					0.00	—	
		その他の紙					0.00	—	
							0.00	—	
		かん		0.14			0.14	100%	
		ビン		0.08			0.08	100%	
		ペットボトル		0.14			0.14	100%	
		紙パック					0.00	—	
		発砲スチロール					0.00	—	
		プラスチックごみ					0.00	—	
		厨芥ごみ					0.00	—	
		粗大ごみ					0.00	—	
							0.00	—	
		その他可燃ごみ			0.79		0.79	0%	
	その他不燃ごみ					0.00	—		
	一般廃棄物合計	0.00	0.37	0.79	0.00	1.16	32%		
	産業廃棄物		廃油					0.00	—
			がれき類					0.00	—
			ガラス、陶磁器類					0.00	—
			木くず(パレット類)					0.00	—
			がれき類					0.00	—
			廃プラ			4.56		4.56	0%
			金属くず					0.00	—
			動植物性残さ					0.00	—
			無機性汚泥		6.45			6.45	100%
			有機性汚泥					0.00	—
			その他可燃ゴミ					0.00	—
								0.00	—
		特別管理	廃油					0.00	—
			廃酸・廃アルカリ					0.00	—
			有害産業廃棄物					0.00	—
								0.00	—
		産業廃棄物合計		0.00	6.45	4.56	0.00	11.01	59%
		合計		0.00	6.82	5.35	0.00	12.17	56%

③ 水使用量及び総排水量

③-1 総排水量

				実績(m <sup>3</sup> )	割合(%)
総排水量	公共用水域	河川	m <sup>3</sup>		
		湖沼	m <sup>3</sup>		
		海域	m <sup>3</sup>		
		各種水路	m <sup>3</sup>		
	公共用水域合計	m <sup>3</sup>	0		
	下水道		m <sup>3</sup>	1,022	100%
総排水量合計			1,022	100%	

必須項目

③-2 水使用量

		単位	合計(年)		把握できない場合の理由 他社事務所と兼用の 為水道使用量の振り分け負荷
			実績(m <sup>3</sup> )	割合(%)	
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	1,022	100%	
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
	水使用量合計	m <sup>3</sup>	1,022	100%	

④ 化学物質使用量

化学物質の種類						必須項目
製品		製品使用量		化学物質量		備考
製品	化学物質	使用量	(単位)	含有率(%)	含有量kg	
アドブルー	尿素	14,235	kg	32%	4,598	L
			kg		0	L
			kg		0	L

⑥ 資源等使用量

			合計(年間)		割合 %
			実績	単位	
資源の種類	エンジンオイル		0.03	t	100%
	タイヤ		0	t	0%
				t	0%
				t	0%
				t	0%
	資源使用量 計		0	t	100%
循環資源	重量			t	0%
				t	0%
				t	0%
		循環資源量 計		0.00	t
	重量以外			t	0%
				t	0%
				t	0%
その他	その他	クーラント液	0	t	0%
				t	0%
		その他 計		0	t
資源等使用量合計			0	t	100%

- 資源の種類
- ・金属(鉄、アルミ、銅、鉛等)
  - ・プラスチック(種類毎)
  - ・ゴム
  - ・ガラス
  - ・木材
  - ・紙(用紙も含まれる)
  - ・農産物 等

○事業者内部で循環的に利用(再使用、再生利用、熱回収)している物質は対象外となります。